

日経平均株価

2万1117円22銭

▼33円92銭(前日比)

TOPIX

1541.21

▲0.63(前日比)

2019

5/27

月曜日

発行元 株式会社 証券市場新聞社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6C

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



クラウドが世界を変える

ソニーとマイクロソフト提携の衝撃



クラウドはゲーム以外にも

スマートフォンやPC、タブレット端末が、クラウドによるゲームの楽しさを提供する。クラウドはゲーム以外にも、スマートフォンやPC、タブレット端末が、クラウドによるゲームの楽しさを提供する。

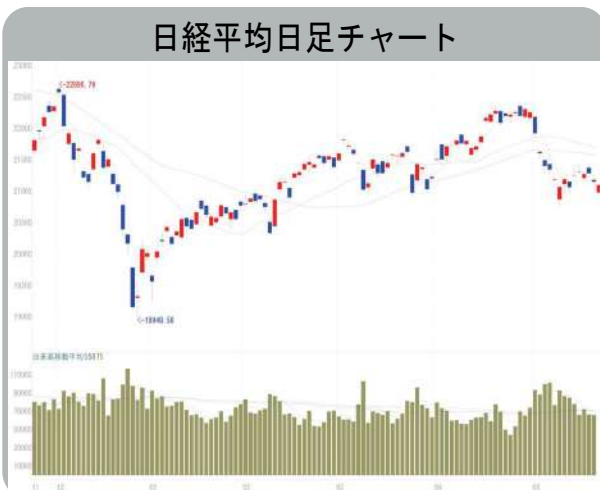
今年、この時期はアメリカのロサンゼルスで開催される「E3 (Electronic Entertainment Expo)」を前にゲーム関連銘柄が話題になるが、今年、ゲーム機ではライバル同士だったソニー(6758)とマイクロソフトがクラウドでの提携を発表し、これまでとは様相が大きく異なっている。この世界の巨艦2社が手を結ぶ契機とも言われているのが、3月に発表された米グーグルのゲームストリーミングサービス「Stadia (スタディア)」だ。

ゲーム以外の企業の結集も

今年のE3は6月11日から開催されるが、ソニーは早々に不参加を表明しており、事前の盛り上がりには欠ける状況だ。その一方で、ソニーは5月17日に米マイクロソフトとクラウドゲームなど

ゲーム機ではライバル2社が手を結ぶキッカケとも言われている。ゲーム機ではライバル2社が手を結ぶキッカケとも言われている。

での戦略的提携を発表しており、ハードの普及で覇権を握る従来のゲームビジネスが今後大きく変わることを印象付けている。ゲーム機ではライバル2社が手を結ぶキッカケとも言われている。今回のソニーとマイクロソフトの提携は、細かく見ると、クラウドによるゲームの楽しさを提供する。クラウドはゲーム以外にも、スマートフォンやPC、タブレット端末が、クラウドによるゲームの楽しさを提供する。



例年、この時期はアメリカのロサンゼルスで開催される「E3 (Electronic Entertainment Expo)」を前にゲーム関連銘柄が話題になるが、今年、ゲーム機ではライバル同士だったソニー(6758)とマイクロソフトがクラウドでの提携を発表し、これまでとは様相が大きく異なっている。この世界の巨艦2社が手を結ぶ契機とも言われているのが、3月に発表された米グーグルのゲームストリーミングサービス「Stadia (スタディア)」だ。

表時にはパートナー企業として明らかにしたシリコンスタジオ(3907)やCRI・ミドルウェア(3698)がトップ高まで買われている。今回のソニーとマイクロソフトの提携は、細かく見ると、クラウドによるゲームの楽しさを提供する。クラウドはゲーム以外にも、スマートフォンやPC、タブレット端末が、クラウドによるゲームの楽しさを提供する。

インフラプラットフォームのMicrosoft Azureをベースにクラウドゲームビジネスを展開していくようだ。今回の提携は自動車運転などゲーム以外の展開も先行き想定されるが、Azureを活用したIoT構築サービスの提供を行っているソフトバンク・テクノロジーズ(4726)など、今回の提携を契機にクラウドを活用する様々な企業の結集も将来的に期待したい。

今週の動意銘柄

レオパレス21が続騰

旧村上ファンド系レノ買い増し

週明け20日、レオパレス21(8848)が続騰。大量保有報告書で旧村上ファンド関係者が運営する投資会社レノの保有比率が10日時点

また、英投資ファンドのオデイ・アセットも13・50%を保有することも思惑を呼んだ。

JDI出資条件見直し

20日、ジャパンディスプレイ(67

40)が連日で年初来安値を更新。中台連合から出資条件の見直しを要求されていると伝わった。最大800億円の出資を受けるが、新たな出資者を加えることを求められているという。出資者が見つからなければ再建が暗礁に乗り上げる可能性があり、改めて経営不安が強まった。

北越コポ63%増益

20日、北越コーポレーション(3865)が大幅続伸。20年3月期業績について、連結営業利益165億(同62・9%増)と大幅増益を見込んだ。価格改定効果や期を通じて寄与収益体質強化を図るべく引き続きコストダウンを徹底する。

一段の買い増しや株主提案への思惑から買いを集めた。7日時点で6・24%を取得して以降、連日で買い増しており、

愛三工は出資引上げ

21日、愛三工業(7283)が急伸。デコンソー(6902)との事業再編と出資比率の引き上げについて検討を開始すると発表

21日、愛三工業(7283)が急伸。デコンソー(6902)との事業再編と出資比率の引き上げについて検討を開始すると発表。デコンソーのソフトバンクグループ(9984)が3日続伸。米連邦通信委員会のパイ委員長が傘下の米携帯電話大手スプリントとTモバイルUSの合併を承認するよう他の4委員に

ソフトバンクG合併支持

21日、ソフトバンクグループ(9984)が3日続伸。米連邦通信委員会のパイ委員長が傘下の米携帯電話大手スプリントとTモバイルUSの合併を承認するよう他の4委員に

杉本商自己株取得枠

21日、杉本商事(9932)が急伸、年初来高値を更新した。自己株式取得枠の設定を発表。上限50万株(発行済株式総数に対する割合4・52%)または12億5000万円

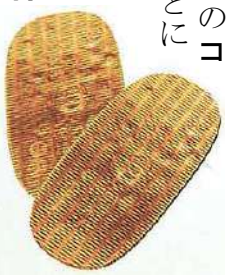
21日、杉本商事(9932)が急伸、年初来高値を更新した。自己株式取得枠の設定を発表。上限50万株(発行済株式総数に対する割合4・52%)または12億5000万円

正直いいさんの株で大判小判

24日の東京市場は前場に2万900円台前半まで急落しましたが、その後は2万1000円台を回復し、後場から急速に戻りました。23日のNY市場でダウは一時400ドル超にまで下げ幅を拡げましたが、その後、米中商交渉は短期でし、ファーウェイも交

「トランププット」を忘れるな!

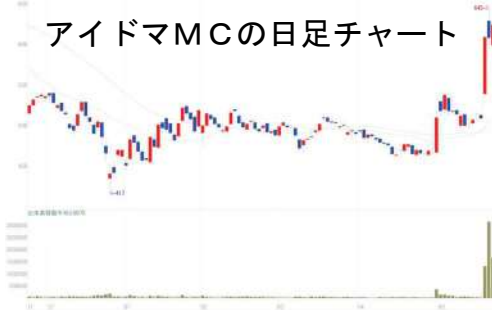
6月のG20で引き続き方向、トランププットを忘れるな! トランププットを忘れるな!



オンキヨーは事業売却

22日、オンキヨー(6628)が急反発、前日比27円高の57円まで買われた。子会社のオンキヨー&パイオニアなどのホームAV事業を米サウインド・ユナイテッド社グループへ売却すると発表

アイドマMCの日足チャート



と業務提携すると発表した。Sunpara社はアリババグループのスーパーバイドへ電子ラベルやシステムを製造・販売

アイドマS高で新値

アリババ系企業と業務提携

22日、アイドママーケティングコミュニケーション（9466）がス

23日、リミックスポイント（3825）が続急落。22日取引終了後、リバイブ投資事業組合を引受先とする第三者割当による140万8400株の新株と新株予約権281万6900株を発行すると発表したこと、稀薄化と需給圧迫を懸念した売りに押された。手取概算計15億2000万円はBPJに対する出資とブロックチェーン関連企業への投資、関連事業開発に充て

リミックス稀薄化で急落

23日、リミックスポイント（3825）が大幅高で連日の年初来高値。導出先のノバルティス社が米胸部学会年次国際会議で、開発中の喘息治療配合吸入剤QVM149の第2相臨床試験の主要成績を発表した。喘息患者の肺機能改善と対象薬に対する優越性、投与時間に関する改善が示され、安全性、忍容性も確認

22日、スズキ（7269）が急反落。インド反トラスト当局の競争委員会がい

スズキ禁法違反疑い

スズキが反競争的行動に關与した疑いについて調査している。海外メディアが報じた。ディーラーに値引きを制限し、競争を阻害したというマルチ・スズキは、1%のシェアを占め、独禁法違反に当たるとみているようだ。

あした
先進技術で豊かな未来を――



立花エレテックは電機・電子の「技術商社」です。

創業 100 周年を迎える 2021 年に向けて「C.C.J2200」を推進中。

未来指向という
チカラ。



電機・電子技術商社のリーディング・カンパニー。



株式会社 立花エレテック

TACHIBANA ELETECH

東証第一部 (証券コード: 8159)
本社 / 〒550-8555 大阪市西区西本町1-13-25 TEL: 06-6539-8800
支社 / 東京・名古屋
支店 / 東関東・北関東・神奈川・三河・東海・北陸・三重・滋賀・南大阪・神戸・姫路・広島・四国・九州
海外 / 香港・シンガポール・台湾・上海・韓国・タイ・インドネシア
北京・深圳・武漢・大連・青島・マレーシア

<http://www.tachibana.co.jp/>

第69回工業技術賞受賞

ニイタカ

食品添加物「ノロスター」



ノロスター

製剤「ノロスター」での優れた研究発明が認められ、「第69回工業技術賞」（主催・社団法人大阪工研協会）を受賞した。

今回、受賞した「ノロスター」は、エタノールにクエン酸や硫酸

マグネシウムを配合することで、ヒトノロウイルス代替ウイルスのネコカリシウイルス（FCV）やマウスノロウイルス（MNV）に對して優れた不活化効果を発揮する非危険物の食品添加物アルコール製剤。これまでFCVとMNVの両方を十分に不活化することは困難だったが、特定の組み合わせで優れた効果の発現を見出し製品化。

この技術が評価され、同社製品は4年連続の受賞となった。

企業レジャー

ニイタカ（4465）

23日、ぐるなび（2440）がストップ高。楽天（4755）と資本業務提携を強化すると発表したが買い手掛かりになった。楽天はぐるなび滝久雄会長の保有株の一部23万9700株を市場外相対取引で取得。持ち株比率を9.60%から14.9%に高め、筆頭株

主になる。併せて楽天は同社に代表取締役社長と役員を派遣、滝会長は代表権のない取締役会長に退く。

レオパレスさらに買い増し

週末24日、レオパレス21（8848）が大幅に3日続伸。23日に提出された大量保有報告書で旧村上ファンド系投資会社のレノがさ

らに買い増し、16日時点の保有割合が16.18%と前回提出時の14.12%（14日時点）から2.05%高まったことが判明したことで、一段の買い増しと株主提案などへの思惑から買いを集めた。また、英投資ファンドのオデイ・アセット・マネジメントが保有する15.62%と合わせると31.80%と、株主総会で特別決議を否決のできる3分の1に近づいており、

楽天と資本業務提携強化

ぐるなびストップ高

転ばぬ先のテクニカル

もうはまだなり

先週の株式市場は米政府が中国の通信機器大手ファーウェイとの取引を禁止するなど米中摩擦がエスカレートしたことで、日経平均は3週連続落となりまりました。日足では20日線と60日線がデッドクロス。週足では26週線を割り込み、昨年12月安値に対する二番底を伺う動きとなりました。

日経平均の2万1000円を死守する動きが続いていますが、上に行くためには一度割り込んで投げ売りが出る必要があると思います。5月14日に続き先週末も終値ベースでは2万1000円台に戻りましたが、まだコッソリとした感じがありません。また、例年通り4月に買い越した海外投資家は5月に入って2週連続売り越してきており、諺通り Sell in May となっています。彼らの売りが止まる必要があります。買いはもう少し引き付けてからではないかと思われま。 日々勇太郎



今後の動向が注目されている。

原油関連軒並み安

幅下落、約2カ月半ぶりの安値を付けたことが嫌気された。

24日、国際石油開発帝石（1605）、など資源開発やコスモエネルギーホールディングス（5021）、出など石油元売りを含め、原油関連株が軒並み安。前日のNY原油先物価格が大

24日、スズキ（7269）が急反発。インド総選挙でモディ首相率いる与党のインド人民党の勝利が確実となったことで、政策運営への安心感から見直し買いを集めた。子会社のマルチ・スズキは現地乗用車市場で51%のシェアを占める。

今週の動意銘柄

スズキはインド与党勝利

日本精線
(5659)

第14次中期計画を推進 新製品開発や生産性向上に注力

間を要すると見ており、売上高で370億円(前期比

売上高460億円目指す

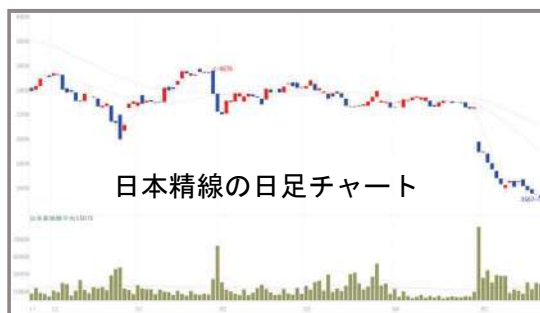
日本精線(5659)はステンレス鋼線のトップメーカーで、ナスロン(金属繊維)などの高機能製品や高合金ワイヤなどの独自製品を供給している。

4月25日に発表した19年3月期は連結売上高387億6000万円(前の期比3.5%増)、営業利益35億5400万円(同11.2%減)、純利益26億3500万円(同6.4%減)となった。減価償却費や人件費など固定費の増加が利益を圧迫しているが、ナスロンフィルターは、高機能樹脂フィルムの補充品や化合繊維用の大型増設などへ拡大、ステンレス鋼線もニッケル価格上昇に伴う販売価格引き上げなどが増収に寄与している。

続く20年3月期はIT関連部品の在庫調整は解消に向かうものの、需要回復にはもう少しばかり時

4.5%減)、営業利益26億円(同26.9%減)、純利益18億2000万円(同30.9%減)と減収減益を見込む。

しかしながら、2020年度(2021年3月期)を目標最終年度とする第14次中期計画(NSR20)では、高機能独自製品の上方弾力確保や新製品開発(次世代高機能独自製品の開発など)と新市場開拓、生産性向上と働き方改革などを基本方針に掲げ、目標最終年度である2021年3月期に、連結売上高460億円を目指す方針だ。



特選銘柄

6月22日(土) 第2回 株式セミナー in 大阪

主催：(株)証券市場新聞社 申込はTEL06-6105-1904またはinfo@marketpress.jpまで！

2019年6月22日(土)14:00~17:00 受付・開場13:00 参加料:無料 定員:50名

大化け特選3銘柄を教えます！

数々の株式コンテストで優勝した岡山憲史さんが登壇



岡山憲史氏(株式会社マーケットバンク代表)1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」約1万人の参加者の中から優勝のほか、多くのコンテストで優勝。1カ月間の3銘柄合計パフォーマンス155%と断トツ。マーケットバンク設立以降、17年以上にわたり安定した高パフォーマンスを継続する画期的運用手法とサービスを提供。

コラム「転ばぬ先のテクニカル」でお馴染み日々勇太郎さんも登壇

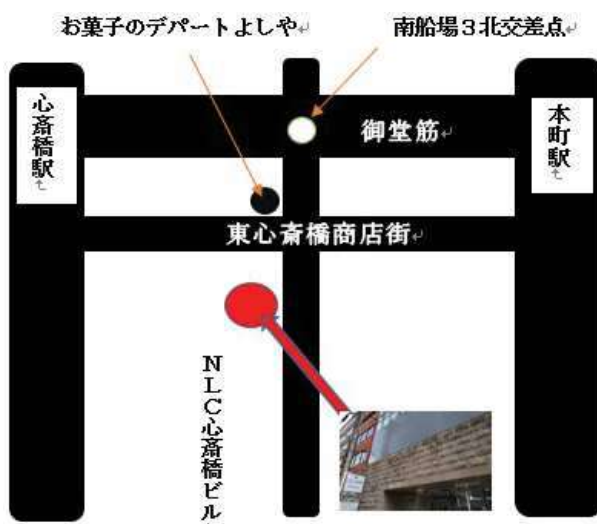
田島直人氏 国際テクニカルアナリスト連盟認定テクニカルアナリスト、高木証券で個人投資家向け資産アドバイザーを経て、19年4月に独立系ファイナンシャルアドバイザー、大阪証券仲介(株)を立ち上げ移籍。

第1部 14:00~14:50 「転ばぬ先のテクニカル」日々勇太郎こと田島直人さんによるテクニカル解説

第2部 15:00~16:30 「大阪サミットで相場が大転換」~サミット後に大幅高となる銘柄~ 岡山憲史さんによる株式講演会

会場：NLC心斎橋ビル 7階セミナールーム

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27



*先着40名様にマーケットバンク発行のカレント経済ノート「主要経済指標」2019年版(定価1,000円)をプレゼント!

チャート から読む 騰落銘柄

シルバーライフ(9262)



4月18日の3780円を底に上昇基調が続く。主力の高齢者向け弁当販売に加えて食材販売やOEM製造も想定超で19年7月期は上ブレ期待。1月7日に付けた高値6330円を目指す動きに期待。

チームスピリット(4397)



9日に付けた最高値6640円からのスピード調整一巡。25日線の上昇で切り返しのタイミング迎える。働き方改革を支援する業務改革システムによる利益成長性に加え、需給も良好で青空相場を一段高へ。

セイコーエプソン(6724)



5月14日に1591円まで下落した後にも戻り鈍い。大容量インクタンクモデルの費用増とインクカートリッジモデル減が重石。1600円前後を維持できなければ昨年12月25日安値1465円も視野。

アルプスアル(6770)



ファーウェイへの輸出規制による収益への影響が懸念され、マド空け急落後も5日線に上値を抑えられ下値模索が続く。突っ込み警戒感は強いものの、押し目買いに信用買い残の整理が進まず一段安も。

※チャートは日足

潮流

消費増税の延期は必然

大阪サミット機に国民に真意問え

marKet / bAnk

市場では10月に予定されている消費増税の再々延期論が再燃している。

安倍総理が

5月16日に証券会社のエコノミストらと会食した際、消費増税について議論されたようだ。政府・与党周辺で消費増税延期に関する言及が目立ってきた。党総裁特別補佐、官房副長官などを歴任し、安倍総理の側近として知られている自民党の萩生田幹事長代行は消費増税について「6月の日銀短観を含めあらゆる数字をよく見る必要がある」との見方を示し、増税延期に含みを持たせた。

もともと萩生田氏は消費増税には反対の立場を取っている。同氏は10月に8%から10%への消費税率引き上げに関し、「本当にこの先、危ないぞというのがみえてきたら、崖に向かってみんなを連れていくわけにはいかない。そこはまた違う展開があると思う」と述べた。16日には前駐スイス大使で安倍総理の経済アドバイザーとして知られる本田悦朗氏が「増税は凍結すべきだ」との考えを示した。米中の貿易摩擦が激化している影響もあって、国内経済の先行きに対する不透明感が強まっている。

自民党内でも消費増税を巡っては、完全に

デフレ脱却という状況ではなく、景気回復が実感できないとの声も多いため、現在の経済状況を「事実として受け止めれば、消費増税という選択肢はあり得ない」という声は多い。

10月からの幼児教育の無償化は

消費増税分が財源だが、延期の場合は「国債発行する以外にはない」との見方が出ている。消費増税の延期が現実味を増しても、日本の財政悪化懸念による「悪い金利上昇」は起きないとの見方が大勢だ。

現代貨幣理論(MMT)でも示されているが、日本は財政拡大政策をとって国の借金が拡大しても問題ないのである。政府・日銀が掲げている2%の物価目標を達成するまでは増税は行わないと発表すべきだ。政府は景気を良くして全労働者の賃金がアップするような対策を考えているようだが、消費増税は真逆の政策である。政府の方針が曖昧で何がしたいか分からないことが市場に閉塞感をもたらしている。安倍総理は内需を喚起するために大胆な財政出動を断行すべき時期に来ている。6月の大阪サミットを機に国民に真意を問えば良い。

潮流銘柄はイーソル(4420)、ファンデリー(3137)、ネクストウェア(4814)。

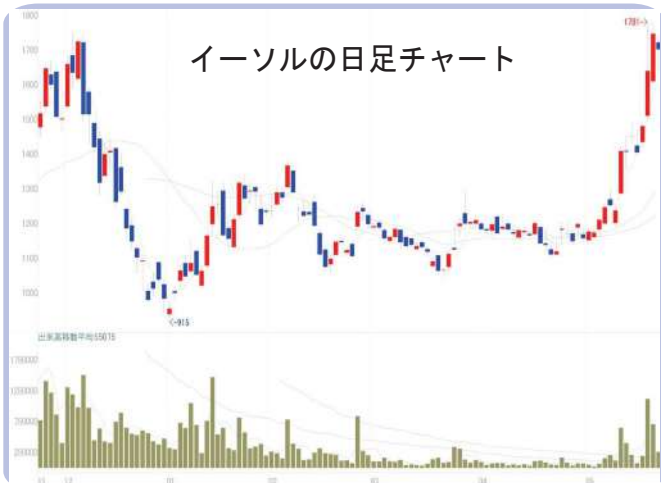


岡山 憲史氏(株式会社マーケットバンク代表取締役)のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp

「悪い金利上昇」は起きない

イーソルの日足チャート



銘柄絞り押し目拾う

高野恭壽の株式情報 これでどや!!

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

引き続き米中対立への懸念が国内外のマーケットの重石になっています。第4週の東京市場は米国のハーウェイ排除の動きが一時的に鎮静化したことで下落していた半導体系や電子部品、電機などが22日に日経平均が2万1400円台まで戻す場面がありましたが、その後戻り待ちの売りで上値が開になりまし

た。全般相場を下支えしている内需系では食品や電鉄、運輸、不動産などで値を保持している銘柄も散見されいま

ACSLに引き続き注目

て月末接近による調整売りが原因とみられます。こうした主力系の上値が重くなり、反落に転じたことで日経平均も様子見が強まりジリ貧状態になっていきます。

半導体系などの輸出系は下落傾向から抜け出すことができず、更に下落の可能性が残りまし。内需系も月末接近で新規資金が入りづらい動きになりますので、日経平均を支えきれない恐れがでてきました。そうした中では材料系などが部分物色に留まり、投資効果を得るのが容易でない状況が強まっています。基本的には持ち銘柄の整理を進めて現金化を高め

て待機して絞り込んだ銘柄の中から押し目を拾うという作戦を続ける局面でしょう。日経平均の2万1000円割れもやむを得ないでしょう。以前推奨してました自律制御システム研究所(ACSL・6232)がストップ高となり、5000円台を大きく超えてきました。赤字体質から今期黒字転換を好感して買われ始めたことになりまし。ドロウンの唯一

す。外需・内需ともに売られる動きが強まったのは米中対立に加え



ACSLの日足チャート

の上場企業であり、人気に火がついたことで更に上値の可能性が高くなりました。こうした主力不在の相場の中では意外高の可能性があり、引き続き注目です。アンジェス(4563)は戻りがあっても本格的な場面をまだ期待は無理とみています。

大紀アルミニウム工業所(5702)の押し目狙いも考えています。4月8日の717円を抜かず、一旦はクドイ動きになると考

えています。今の少しか動きを見極めて

高野恭壽公式ホームページ
高野恭壽の株式市場情報
れどやー!!
https://marketpress.jp/
kabu-takano/
毎日情報を配信中!

星野三太郎の 株街往来

～人口増と地域活性化～

筆者は今年の

4月から20世帯の自治会長を引き受けている。会計の担当者として2世帯がペアになって、自治会費の徴収や回覧板の配布、町内清掃の準備などを一年間務める。前回会長を務めてから10年が過ぎたが、改めて世帯の名簿を確認すると、高齢化が進んだことを実感する。筆者が居住する地域では、自治会の上の組織として、

複数の自治会を統括する大きな組織が行っている。その大きな組織も高齢化で準備を行う人員の確保に苦労している、この数年は参加要請が頻繁くるようになった。ただ、サラリーマンなど平日に勤務がある世帯では、参加は厳しいので、引き受ける世帯は少なく、地域行事の運営ができない位に自治会という組織の厳しさを感じている。

一方、株の街だった北浜はいまではタワーマンションが乱立しており、子供連れで買い物に行く主婦を見かけるようになった。利便性の良さから若い世帯は大都市圏の中心部に移住しているんだと思うが、この傾向が強まると地方の過疎化が更に進むことを危惧している。人口増と地域活性化、単なる経済対策だけでは国家は衰退する。



New product

イトアンド 香味揚げ鶏の五目冷やし中華
「よってこや」で期間限定販売

香味揚げ鶏の五目冷やし中華



イトアンド(2882)はラーメン専門店「よってこや」において、「香味揚げ鶏の五目冷やし中華」を8月31日(予定)までの期間限定で販売している。

「香味揚げ鶏の五目冷やし中華」は、醤油だれにじっくりと漬け込んだジューシーな揚げ鶏はさっぱりとした五目冷やし中華と相性がぴったり。トッピングには錦糸玉子、キュウリ、トマトとシャキシャキとした食感の葱ともやしのナムルをたっぷりと盛り付け、ボリューム感たっぷりの冷やし中華に仕上げている。販売価格が税別780円、揚げ鶏ダブルが同920円で、東京では恵比寿本店、大阪では枚方駅前店などで販売中。

ホテルで夜の贅沢体験

近鉄GHD

イブニング・ハイティーを提供



イブニング・ハイティー

近鉄グループホールディングス(9041)傘下の近鉄・都ホテルズ運営のウエスティン都ホテル京都(京都市東山区)は、6月1日から7月31日まで、

「イブニング・ハイティー」を提供する。午後の贅沢としてアフタヌーンティーが好評を得ているが、夜も贅沢を楽しみたい！という要望にこたえるべく、ホテルで優雅な大人の時間が楽しめるハイティーを用意した。イタリア料理を中心に、前菜、牛肉のタリアータなど温かい料理、イタリアのお菓子カンノリーなどのデザートを3段のハイティーで提供。また、ドリンクメニューも充実。10種類以上のソフトドリンクメニューを用意し、茶葉は交換も自由でゆっくりと楽しめる。他にもアルコールとも楽しめる、各種アップグレードプランも用意。

企業レター

日経225先物日足チャート



敏腕先物ディーラー
ハチロクの裏話

2番底探しの展開

個別材料株に資金向かう

先週の日経平均は一旦は米中貿易摩擦の影響を株価は織り込んだかのように見えたが、ファアウエイの問題ひとつも次々と取引を停止する企業や業績の下方修正が伝えられ、マイナス材料満載に投資家の買い意欲は削がれたようである。

中国側はまだ米国に対し本格的な制裁はしていないが、米政府のデータによると、中国は3月に米国債を約200億ドル売り越したようだ。この規模は2年以上なかった規模だけに、思惑を呼び相場に警戒感を高めよう。可能性は低いですが、中国が米国債の売却で対抗措置をとるとすれば、債券

市場は大荒れになり、相場は大暴落となる。投資家はそういうリスクまで警戒し始めるかもしれない。相場は20日に2万1430円06銭の戻り高値を付けた後は5日線を意識した揉み合う展開となったが、結局、週末に2万1000円を割り込み、売り優勢の展開となった。今週は積極的な買い手不在で、2番底探しの展開となる。下の値メドは14日の2万751円45銭だ

が、その下は上昇幅の0・382%押し目の2万6800円、節目の2万5000円、50%押しでの2万1550円が抵抗ラインとなつてこよう。下がりがすぎると10月からの消費税引き上げに影響すると考えられ、ETFなどで買い支えの意向が働くと思われ、大きな下落は基本的にはないと思う。戻りのメドは一目均衡表の転換線の2万1090円、5日線、窓埋めの2万1266円、戻り高値の2万1430円処が上値抵抗ラインとして意識されそう。10連休後からの下落であり、個人投資家はまだ買

い余力は十分あると思われ、動きが読みづらい指数というより、個別材料株の方へ資金は向つてい

今週のスケジュール

- ・24日 米4月耐久財受注(21:30)
- ・25日 トランプ米大統領来日 (~28日)
- ・28日 4月企業向けサービス価格指数(8:50)
米3月S&PコアロジックCS住宅価格指数(22:00)
米5月CB消費者信頼感指数(23:00)
- ・30日 米1-3月期GDP改定値(21:30)
- ・31日 4月失業率・有効求人倍率(8:30)
4月鉱工業生産、4月商業販売統計(8:50)
中国5月製造業PMI(10:00)

編集後記
閑空近くの泉佐野漁協が運営する青空市場に買い出しに行った。この時期、旬の魚といえばカツオかアジぐらいしか思いつかないが、ハマグリやオオアサリなど貝類がおいくなる季節。屋外へ七輪を出して浜焼きをするにしても湿度は低く、夜風が心地いい。後片付けは翌日にすると、ほろ酔い加減で旧友と趣味の話などに花を咲かせた。
東京市場はファアウエイ問題が重しで、軟調な展開が続いた。ただ、貝類と同じく米中首脳会談が予定される梅雨入り前までは中小型株人気が続くのだろう。

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らねたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。